すこやかハート北九州

保健福祉の情報をお伝えします

令和6年度の特定健診が始まりました

問保健福祉局健康推進課☎582・2018

8000円相当が無料！

北九州市では年に一度、40～74歳の人に特定健診を実施しています。特定健診はメタボリックシンドローム(※)に着目した健診で、高血圧症などの生活習慣病の発症や重症化の予防を目的としています。

※内臓脂肪型肥満に加えて、糖尿病や高血圧症、脂質異常症などを2つ以上併せ持った状態のことです。動脈硬化を進行させ、脳血管疾患や心疾患などを引き起こします。

対象 国民健康保険に加入している40～74歳の人
※対象者には**無料受診券**を5月中旬以降に送付しています。
※国民健康保険以外に加入している人は、加入している健康保険にお問い合わせください。

期間 来年3月31日まで

検査内容 身体測定、血圧測定、検尿、血液検査、貧血検査(※)、心電図検査(※)、眼底検査(※)など
※は医師が必要とした場合だけ

医療機関 受診できる医療機関は問を。市のホームページ(下記を読み取り)でもご覧になれます。
※医療機関によっては土・日曜日に受診できるところもあります。
※区役所などで集団検診も実施しています。

健診結果 原則、2週間以内に受診場所でお伝えします。

健診の結果、生活習慣病の発症リスクが高い人 → **特定保健指導**(医師・保健師・管理栄養士などによる生活指導改善のためのアドバイス)が受けられます。

こんなことが分かっています

■令和3年度に脳血管疾患を発症した人のうち、平成30年度から一度も特定健診を受診していない人は、毎年受診している人に比べて、**医療費は約3倍高くなっていました。**

健康な時に健診を受診し、生活習慣病の予防や早期発見・治療を行うことが大切です。

■令和3年度に特定健診を受診し、高血圧で医療機関受診が必要とされた人のうち、**未治療の人が約40%いました。**

健診を受診したにも関わらず高血圧の治療をしないでいると、脳血管疾患などの重症化につながる恐れがあります。

現在、医療機関にかかっている人へ
健診は不要だと思っていませんか?
通院中でも特定健診の検査項目を全て検査していない場合もあります。無料ですので、年に一度は受診しましょう。

忙しくて受診できないという人へ
医療機関や区役所などでの集団検診があり、土日に受診できる会場もあります。

毎年、特定健診を受けて、検査結果の変化などを確認し、健康の維持や生活習慣の改善につなげましょう。

◀詳細はコチラから

市政フラッシュ SHISEI FLASH

このコーナーでは、北九州市の最新の取り組みや話題の出来事などをご紹介します。

市長がJICA九州で留学生と交流しました

北九州市は、JICA(国際協力機構)と連携協定を結び、開発途上国の未来を担う人材育成を行っています。このたび、武内市長はさらなる連携・協力を図るため、JICA九州センター(八幡東区平野二丁目)を訪問し、所長との協議や留学生との交流を行いました。

▲交流会の様子(4月15日)

▲エスニック料理も楽しめるカフェ「JICAFe」(開11時30分～14時、18～21時。☎671・6311)

JICA九州センターでは、年間約800名の開発途上国からの研修員の人材育成を行っています。図書室やカフェはどなたでも利用できます。気軽にお立ち寄りください。

問政策局国際政策課☎582・2146

防災に関する総務大臣賞を受賞しました

■若松区東28区市民防災会

10年前、防災訓練の参加者がわずかだった「若松区東28区」は、災害時の緊急ネットワーク構築に積極的に取り組み、現在では毎年200人を超える住民が自主防災活動に参加しています。この功績が認められ「防災まちづくり大賞(総務大臣賞)」を受賞しました。

▲避難訓練後の振り返り学習の様子

■くすばし少年消防クラブ

中学・高校生で構成される「くすばし少年消防クラブ」は、火災予防・水難事故防止活動のほか、全国交流大会やオーストリアで開催された青少年消防オリンピック大会にも参加するなど、活発に活動しています。この活動に尽力した指導者の功績が認められ「優良少年消防クラブ・指導者表彰(総務大臣賞)」を受賞しました。

▲土のう作り訓練の様子

問消防局予防課☎582・3836

広告の申し込みは㈱キョウエイアドインターナショナル 0120・609・450まで。
※広告内容と北九州市とは直接関係ありません。